令和７年度　園の自己評価

保育は、「子どもの最善の利益を優先して行わなければならない。」と誰もが願っています。子どもらしい学びの姿に気づき、その意味を認め、丁寧に応じる過程が「子ども達にとって最善」ではないでしょうか。最善の利益は常に子ども側にあります。子どもの生活をしっかり見て、気付きや改善を積み重ねることが「保育の質」を高めることになります。

一人ひとりの育ちを捉える視点として、ねらいや達成状況の評価には子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などにも十分配慮すること、育ちをしっかり捉えることができる専門性を必要としています。また、自らの保育では、指導計画に書かれた、ねらい・内容・環境構成・援助が適切であったかなど「保育の過程」全体を振り返るとしています。

振り返りを行う方法のひとつとして、評価項目を利用しての振り返りを誰もが取り組める一定の基準にまとめました。

評価のめやす	個人評価ではなく、組織としてできているかを捉え評価する。	A	十分わかる	C	やや不十分
		B	おおむね分かる	D	改善を要する

(1)　保育理念、連携、相談

	評価項目	A	B	C	D
1	「生きる力とこころを育む」という方針はどこから出ているか知っていますか。	17	1		
2	人権を十分配慮すると共に文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。	16	2		
3	適切でない対応をしている他の職員の行為を目にしたとき、助言ができますか。	10	6	2	

(2) 子どもの発達援助（養護）

	評価項目	A	B	C	D
4	子ども達が安心して過ごせる保育園となっていますか。	16	2		
5	子ども一人一人の発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っていますか。	16	2		

(3) 子どもの発達援助（健康）

	評価項目	A	B	C	D
6	子どもの生活を24時間の連続したサイクルでとらえ、一日の生活がリズムよく、また無理なく過ごせるように配慮していますか。	18			
7	子どもが伸び伸びとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。	17	1		
8	外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	18			
9	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。	16	2		
10	子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行っていますか。	18			

⑷　子どもの発達援助（人間関係）

	評価項目	A	B	C	D
11	園生活のなかで「自分でできた！」という充実感や成功体験を味わえるような体験を取り入れていますか。	17	1		
12	異年齢の子どもの交流が行われていますか。	17	1		

⑸　子どもの発達援助（食事）

	評価項目	A	B	C	D
13	子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫していますか。	18			
14	時には様々な場所で食べるなどの工夫をしていますか。	13	5		
15	子どもが育てた野菜などを料理するなど、食育へつなげていますか。	13	5		
16	子どもが配膳や片付けなどに参加できるよう配慮していますか。	17	1		
17	季節感のある食材に触れる機会を設けていますか。	15	3		

⑹　子どもの発達援助（環境）					
	評価項目	A	B	C	D
18	子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びができるようにしていますか。	17	1		
19	設定保育だけでなく、子どもが自由に遊べる時間が確保されていますか。	17	1		
⑺　子どもの発達援助（言葉）					
	評価項目	A	B	C	D
20	子どもと心のこもったあいさつを交わしていますか。	18			
21	「ありがとう」「ごめんなさい」などの生活に必要な言葉が自然に使える環境になっていますか。	18			
22	正しい言葉遣いや、声の大きさ、命令口調や高圧的な口調になっていませんか。	16	2		
23	子どもがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後まで聞くよう努めていますか。	16	2		

⑻　子どもの発達援助（言葉）

	評価項目	A	B	C	D
24	素材や用具、玩具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど、工夫していますか。	17	1		
25	みんなで一緒に表現することの楽しさを味わえるようにしていますか。	17	1		

⑼　子どもの発達援助（乳児保育）

	評価項目	A	B	C	D
26	外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けていますか。	18			
27	寝返りのできない乳児を寝かせる場合には、安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い記録をしていますか。	18			
28	事故予防に努めた保育を行っていますか。（おんぶ、抱っこ、乳母車、シャワー、オムツ交換時など）	18			
29	継続的に同じ保育士とかかわりが保てるよう配慮していますか。	17	1		

⑽ 子どもの発達援助（長時間保育・延長保育）					
	評価項目	A	B	C	D
30	好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか。	17	1		
31	異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されていますか。	17	1		
32	子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っていますか。	18			
⑾ 子どもの発達援助（障害児保育）					
	評価項目	A	B	C	D
33	障害児保育に関する研修を受けていますか。	16	2		
34	障害児保育について定期的に話し合う機会を設けていますか。	16	2		
35	障害のある子どもの保護者との話し合いの場を設けて、不安や焦りなどの悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。	17	1		
36	継続的に同じ保育士とかかわりが保てるよう配慮していますか。	17	1		

⑿ 子どもの発達援助（障害児保育）

	評価項目	A	B	C	D
37	子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか。	18			
38	保護者が積極的に行事に参加するように働きかけ、子どもの成長や子育ての喜びが共有できるように配慮していますか。	18			
39	一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか。	18			
40	相談内容など、人に聞かれないで相談できるように配慮していますか。	18			

⒀ 保護者に対する支援（保育内容の説明・応答責任・個別支援）

	評価項目	A	B	C	D
41	保護者の考えや提案を聞き、保育に活かしていますか。	17	1		
42	相談は記録し、継続的な支援をしていますか。	17	1		
43	保護者に参加してもらえるような行事については、事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	18			
44	文化や宗教・習慣を尊重し、それぞれを受け入れ、信頼関係ができるようにしていますか。	18			

⑭ 保護者に対する支援（地域保育所機能の開放）					
	評価項目	A	B	C	D
45	子育て支援の為の講座や交流の際、積極的に役割をになっていまうすか。	14	4		
46	育児支援事業において地域の保護者同士をつなげるような働きかけをしていますか。	15	3		
47	実習生を受け入れる時には、その目的や意義を理解し、指導する事ができているか。	18			
⑮ 保護者に対する支援（関係機関との連携・情報提供）					
	評価項目	A	B	C	D
48	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、関係機関に照会、通告を行う義務があることを知っていますか。	18			

⑯ 保育を支える組織的基盤（健康及び安全の実施体制）					
	評価項目	A	B	C	D
49	子どもの日々の健康状態を把握し、保育することができる園であるか。	18			
50	子どもの与薬を依頼されたとき、園の対応マニュアルに沿って対応することができているか。	18			
51	子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有していますか。	18			
52	子どもが十分に睡眠をとるなど健康な生活リズムを身に付けるように保護者への啓発に努めていますか。	18			
53	保育室の換気や温度・湿度に配慮して保育していますか。	18			
54	玩具・遊具については、必要に応じて消毒したり衛生面に配慮し、破損の有無を毎日チェックしていますか。	16	2		
55	施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って行い、不具合の箇所は必要な対策をとっていますか。	18			
56	子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するように働きかけていますか。	17	1		
57	交通安全の習慣が子どもの身につくように日頃から指導をしていますか。	18			
58	不審者が侵入したとき、自分はどのように対応するか分かっていますか。	16	2		

⑰ 保育を支える組織的基盤（保育の計画と保育内容の自己評価）					
	評価項目	A	B	C	D
59	子どもを主体とした視点で保育をしていますか。	17	1		
60	保育課程や保育計画のねらい・内容を職員や保護者に分かるように伝えることができますか。	17	1		
61	年度の目標を明確にして保育していますか。	17	1		
62	保育計画が適切であったか振り返りを行い、改善していますか。	17	1		
63	職員会議などで、保育の質の向上につながる発言をしていますか。また、他の職員の発言や意見から気付いたり学んだりすることがありますか。	18			
64	職員連携、全体の連携を意識して、あなたは具体的な行動をとっていますか。	16	2		
65	自分の保育実践について同僚や園長と保育を語る機会をつくっていますか。	15	3		
66	新採用の職員、あるいは後輩に配慮し、温かい人間関係をつくるようにしていますか。	18			
⑱ 保護者に対する支援（関係機関との連携・情報提供）					
	評価項目	A	B	C	D
67	個人情報の管理を適切に行っていますか。	18			

【総評価・反省】

令和7年度の園の自己評価で注意すべき評価項目は1つ

⑴.3 適切でない対応をしている他の職員の行為を目にしたとき、助言ができますか。

上記、評価項目は前年同様、Cのやや不十分が2人。
園内研修でパワハラ研修を行ったが、数値変化なし。
見えない所で、研修が行き届かない部分を示している。
令和8年度は社労士に協力してもらい、全職員の特性検査をする予定。
特性検査の結果を共有し、社労士による助言と指導を取り入れ、
適切でない対応を減らし、助言ができる環境を整える。

他、考察

全67項目中28項目においてオールAがついてる。これらの項目は全職員が組織で出来ていると判断している。
残り39項目には1〜6名がBをつけている。少なくとも、6名は100点ではないが平均点以上と考えている。

まとめ

適切でない行為をしてる職員に十分な助言ができない組織であると、判断する人が2人いる。
この仕事は寄り添う仕事であるため、助言できない人を出来るようにするのではなく、
助言できない人に寄り添い、相談に乗り、根本的な問題を見つけ解決するのが、正解と判断する。
この意識を組織で共有することが、この職場では求められる。